## 第50回 全国高等専門学校体育大会 バスケットボール競技

平成27年8月16日男子準決勝

		3 1 -1 2	$\neg$		
鈴鹿工業高専 (東海地区)	8 4	1 3 —1 7 — 2 3 —1 1		5 9	鹿児島工業高専 (開催地)

第1P, 鈴鹿は#5のオールコートディフェンスの裏をつくプレイで先制すると, 速い展開のプレイを見せ, 開始2分で鈴鹿8-2鹿児島とリードする。鹿児島は#7の3Pシュートなどで反撃を見せるが, 鈴鹿のディフェンスを崩せず得点が伸ばせない。鈴鹿はターンオーバーからテンポの速い攻撃を続け, #13などを中心に得点を伸ばす。鈴鹿31-12鹿児島と鈴鹿が大きくリードし第1Pを終える。

第2 Pに入ると、鹿児島は鈴鹿の速いオフェンスを防ぎ、ディフェンスのリズムを取り戻す。攻撃においても、#11 の 3 Pシュートや#13 の得点などで鈴鹿との差ををじわじわと詰める。このピリオドを鈴鹿 13-17 鹿児島とし、前半は鈴鹿 44-29 鹿児島と鈴鹿 15 点のリードで終える。

後半に入ると、#8 がシュートを決めた鹿児島は 13 点差とし、さらなる反撃を狙ったが、 鈴鹿は#5 が要所で効果的に 3 Pシュートを決め鹿児島の勢いを止める。また、鈴鹿は速攻 の得点が伸び、終盤は連続 8 得点をあげ、鈴鹿 67-40 鹿児島とさらに差を広げて第 4 Pを迎 える。

第4P, 鹿児島は積極的なディフェンスから#4がシュートを決めるなど追い上げを図る。 #11の3Pシュートで再び20点差とするなど粘りを見せたが、鈴鹿は#13シュートを決め て再び突き放し、これ以上の反撃を許さない。このピリオドはほぼ互角の展開となったが、 結局鈴鹿84-59鹿児島で鈴鹿高専が勝利、決勝進出を決めた。